

箕面市の財政公表

財政経営室 ☎724・6708 FAX 723・2096

令和元(2019)年度決算は、9月7日から10月27日まで開かれた市議会定例会で審議の結果、適正であると認定を受けました。

令和元年度決算では、経常収支比率が前年度から0.7ポイント増えて93.9%となったほか、将来負担比率※も11.6ポイント増加するなど、厳しい財政状況になりつつあります。

新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、今後さらに、市税収入の減少などから財源不足となり、令和3年度当初予算では経常収支比率が100%を超え、赤字となる可能性があります。当面は、極めて厳しい行財政運営が強いられる見通しとなっており、先行きは不透明ですが、健全な財政運営に向け、これまで以上に徹底した改革に取り組んでいきます。

※将来負担比率とは、家計に例えると「年収に対するローン残高など将来支払わなければならない額の割合」を示しています。

経常収支のバランス 経常収支比率

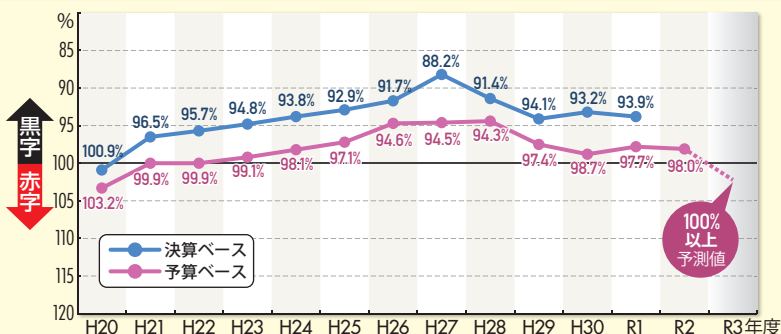
家計に例えると、「毎月の給料で、毎月の生活費が賄えているか？」を示しています。
(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)

93.9%(+0.7ポイント)

退職手当などの人件費が減少したものの、幼児教育・保育無償化に伴う扶助費の増加などにより、前年度から0.7ポイント増えています。

今後は…

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入の減少や福祉関係の扶助費の増加などが予想され、令和3年度の予算ベースでは、経常収支比率が100%を超えて赤字となる可能性があります。



基金の状況 基金残高 (普通会計ベース)

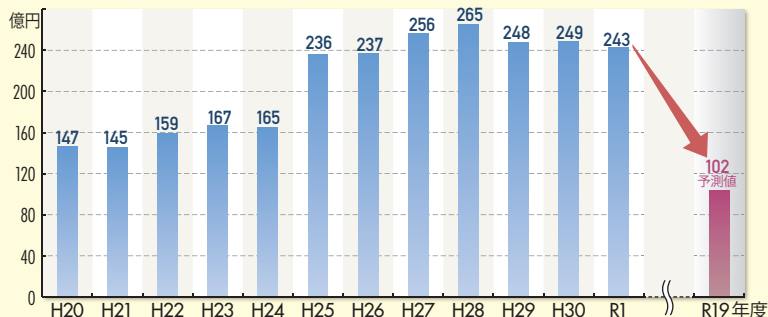
家計に例えると「貯金」です。

242億8900万円(-5億9800万円、-2.4%)

環境クリーンセンター基幹改良工事や、消防通信指令システム改修などに基金を活用した結果、基金残高は約6億円減少しました。

今後は…

市債の返済や各種プロジェクトの財源として基金を活用していくことになり、令和19年度には、基金残高が102億円まで減少する見込みです。



市債の状況 市債残高 (普通会計ベース)

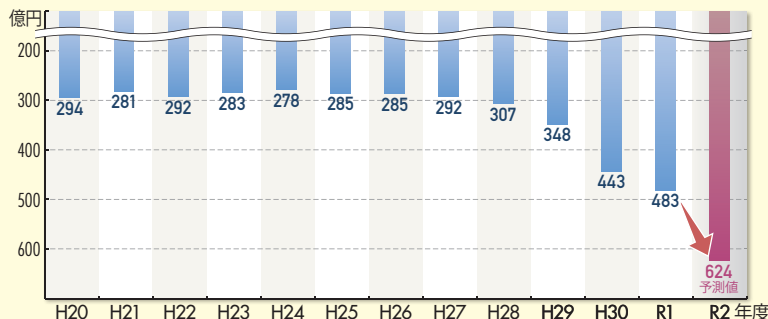
家計に例えると「ローン」です。

482億8800万円(+39億5400万円、+8.9%)

北大阪急行線延伸整備や、環境クリーンセンター基幹改良工事など将来への投資を積極的に行ったことにより、市債残高は約40億円増加しました。

今後は…

北大阪急行線の延伸や新駅周辺の整備などにより、令和2年度の市債残高が624億円に増加し、市の平均的な予算の500億円を超える見込みです。



上記のような財政の危機的状況を打開し、より質の高い市民サービスを提供していくためには、これまで以上に徹底した行財政改革に取り組んでいく必要があります。

そこで… 市では、愛すべきまち「箕面」の次世代への継承、及び持続可能な魅力あるまち「箕面」の実現をめざした「(仮称)市新改革プラン」の策定を進めるとともに、その素案を公表してパブリックコメントを実施し、市民のみなさんからのご意見を募集します。素案の閲覧や、意見の提出方法などについて、詳しくは31ページをご覧ください。